

「ひきこもり支援ハンドブック」を ひきこもり支援に活かす研修会

(オンライン開催)

本人・家族の視点に基づいて必要な支援を共に考えます

社会モデルとしてのひきこもり支援を実践で活かす

2025 年1 月、厚生労働省から「ひきこもり支援ハンドブック～寄添うための羅針盤～」(以下「ハンドブック」)が発行されました。

ひきこもり状態とは、さまざまな要因によって社会や地域、学校や職場からの退避を余儀なくされ、ひきこもることを選択せざるをえなかった状態像です。そういう苦しい状況にある本人に対し単一のゴールを設定して、そこに本人を当てはめようとする支援は、もう成り立たない。

ひきこもりながらも生きている本人に寄添い、本人のあるがままを尊重し、本人の意向に適った支援、つまりひきこもる本人・家族に肯定的に関りながら、必要に応じて手を差し伸べる社会モデルとしての支援が始まろうとしております。

とはいえ、ひきこもる本人・家族を取り巻く状況は依然として様々な課題が生じやすく、8050をはじめとする世帯丸ごとの支援や緊急対応も求められます。

従来の用意された単一のゴールに本人を当てはめようとするような支援が、本人や家族を追い詰めていく。支援者は関りを拒否され、支援も途絶となり、本人・家族への支援に対して無力感を抱いてしまう。そういう実例が当会にも寄せられております。

様々な課題の中でどのように支援を行っていくのか、支援に携わる一人一人が受け止め考えていく必要があります。

当会KHJは、当事者団体として今回のハンドブック発刊に関わりました。ハンドブックが支援実践の場でどのように活かされていくのか、支援に必要な理念や倫理、実践活動を学ぶ機会として、支援者研修会を開催いたします。本人視点での理解、本人の思いに耳を傾けられる関係づくり、否定されない環境や一步を踏み出すためのきっかけづくり、本人の自己決定を応援、伴走できる(応援団、伴走者としての)本人支援、家族支援を推進して参ります。

本研修会が、全国の相談窓口や、支援現場、8050 世帯などへの福祉丸ごと支援、居場所、地域の集いなど、さまざまなサポート実践の一助となれば幸甚です。

※研修内容・日時の詳細は、次ページ以降をご参照ください

【基礎・理念編】ハンドブックの理念を学びます

【研修科目①】

ハンドブックが目指す

コミュニティ・インクルージョン、社会モデル

2025年7月27日（日）9時30分～13時20分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～10:40 (質疑応答 10 分含む)	ハンドブックが目指すコミュニティ・インクルージョン ・コミュニティ・インクルージョン（地域社会の包摂）の基本的理解と、ピアサポートの有用性、その活用について学びます。 講師：相川 章子 （人間学博士、精神保健福祉士） 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉子ども学科 教授
2	10:50～12:00 (質疑応答 10 分含む)	ハンドブックにおける社会モデルの理解 ・ひきこもる本人の心情と社会状況、本人の経験から学ぶ姿勢、支援者との対等な意見交換の意義を学びます。 講師：関水 徹平 （社会学者） 明治学院大学社会学部 社会福祉学科 准教授
3	12:10～13:10 (質疑応答 10 分含む)	ハンドブックの理念とKHJが目指す共生社会 ・誰も取りこぼさない「共生社会」を目指す、当会 KHJ の理念に基づいて、ハンドブックを踏まえた支援の必要性を当事者家族の視点から発信します。 講師：日花 睦子 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 共同代表 / KHJ 大阪虹の会

【研修科目②】
ハンドブックにおける家族支援・本人支援
2025年8月24日（日） 9時30分～13時20分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～10:40 (質疑応答 10 分含む)	ハンドブックに基づく家族支援の基本的理解 ・ハンドブックに示される家族支援の考え方を踏まえ、家族の声や苦悩にどう耳を傾けて、寄添い、関わり続けていくかを学びます。 講師：上田 理香 （公認心理師、家族支援士） 一般社団法人SHIP ひきこもりと共生社会を考えるネットワーク 代表理事
2	10:50～12:00 (質疑応答 10 分含む)	ハンドブックの本人の支援に向けて必要な視点 ・ハンドブックに記載の支援実践をする上での本人への留意点、支援者と本人の意識の乖離など、本人の支援に必要な事項を学びます。 講師：池上 正樹 （ジャーナリスト） 一般社団法人SHIP ひきこもりと共生社会を考えるネットワーク 代表理事
5	12:10～13:10 (質疑応答 10 分含む)	ハンドブックは当事者活動にどう活かされるか ・ハンドブックの記載内容は、ピアサポートなどの当事者活動にどう影響するのか居場所活動などのピアサポーターとの連携について、家族会の声として発信します。 講師：坂本 勲 KHJ 高知県やいろう鳥の会 代表 / 高知県ひきこもりピアサポートセンター 所長

【研修科目③】
ハンドブックにおける支援の理念と倫理、本人の尊重
2025年9月21日（日） 9時30分～13時20分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～10:40 (質疑応答 10 分含む)	ハンドブックにおけるひきこもり支援の理念と倫理 ・ハンドブックに記載の「ひきこもり支援における価値と倫理」の観点に基づき、自立から自律という支援の在り方と留意点について学びます。 講師：長谷川 俊雄 （社会福祉士、精神保健福祉士） 白梅学園大学 名誉教授 / NPO 法人つながる会 代表理事

2	10:50～12:00 (質疑応答 10 分含む)	ハンドブックに基づく本人への寄り添い ・ ひきこもり支援における本人の尊重とは何か、本人の声にどのように耳を傾けるか本人が望む支援、必要なかわりを学びます。 講師： 林 恭子 一般社団法人ひきこもり UX 会議 代表理事
3	12:10～13:10 (質疑応答 10 分含む)	ハンドブックを家族・本人はどう受け止めているか ・ ハンドブックの記載内容は、支援を受ける側としてどう捉えているのか支援者に望む支援とはなにか、家族当事者の声として発信します。 講師： 田口 ゆりえ KHJ全国ひきこもり家族会連合会 監事 / KHJ 埼玉けやきの会家族会 代表

【研修科目④】

KHJ家族会と研修参加者の交流会

～KHJ 支部家族会の声を聴き、家族会と参加者間で話ませんか～

2025年10月26日（日） 9時30分～13時00分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～11:10	K H J 支部家族会の取り組みと支援に望む声 ・ K H J 支部家族会 4 団体が、25 分ずつ、支部家族会の取り組み状況と、支援に臨む声を発信していきます。
2	11:20～12:50	研修参加者と K H J 支部家族会のオンライン交流会 ・ 研修参加者と K H J 支部家族会の方々と、オンラインで交流する機会を設けました。家族会の取り組みや、家族はどう支援者を受け止めるのか、動き出さない本人への働き掛けなど、参加者の様々思いを K H J 支部家族会と分かち合う時間です。

【支援・実践編】具体的な支援実践を共に考えます

【研修科目⑤】

本人の視点を尊重する医療的支援・心理的支援

2025年11月23日（日）9時30分～13時30分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～10:40 (質疑応答 10 分含む)	ハンドブックにおける医療的支援 ・在宅における医療支援、医療を拒むケースへの対応など、本人に寄添いながら医療をどう活用するのかを学びます。また支援者のメンタルヘルスにも触れます。 講師：山崎 正雄（精神科医師） 高知県精神保健福祉センター所長
2	10:50～12:00 (質疑応答 10 分含む)	本人と家族のエンパワメントを促す心理支援アプローチ ・本人や家族に寄り添うアセスメント、エンパワメント、伴走的支援の視点社会状況を踏まえての不登校対応、自治体との連携を学びます。 講師：徳丸 享（公認心理師、臨床心理士） 立正大学心理学部 准教授
3	12:10～13:20 (質疑応答 10 分含む)	演習：プロセスレコードを用いた本人・家族の理解 ・本人や家族とのコミュニケーション場面について学びます。 演習としてプロセスレコードを用いて、支援実践場面、特に関係づくりにおいて気になった場面を振り返り、かかわり方の理解につなげます。 講師：斎藤 まさ子（精神看護学） 長岡崇徳大学 客員教授

【研修科目⑥】

本人・家族の生活を支えるソーシャルワーク実践

2025年12月14日（日）9時30分～13時30分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～10:40 (質疑応答 10 分含む)	ひきこもりにおける権利擁護、地域社会への理解促進 ・ひきこもりを取り巻く権利擁護、地域住民へのひきこもりの理解促進、ネットワークの構築と活用、ひきこもりと防災について学びます。 講師：中井 俊雄（認定社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師） ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 准教授

2	10:50～12:00 (質疑応答 10 分含む)	ハンドブックに基づくソーシャルワークの実践 ・本人を尊重する生活支援、親亡き後の対応、多機関・多職種連携について、ソーシャルワーク実践と留意点を学びます。 講師：深谷 守貞（社会福祉士） KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部・ソーシャルワーカー
3	12:10～13:20 (質疑応答 10 分含む)	実践事例から考える孤立対応と多機関連携 ・社会的孤立状態への働きかけ、長期に渡るケースの支援について事例から様々な本人との関わり方を学びます。 講師：岡田 伊弘（社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、介護支援専門員） 日野市くらしの自立相談支援窓口みらいと 自立相談支援員

【研修科目⑦】

困難事例とワークショップ(対話を用いた関係づくりワーク)

2026年2月1日（日）9時30分～13時10分

No.	研修時間	研修科目
1	9:30～10:40 (質疑応答 10 分含む)	8050 における困難ケース、きょうだい支援 ・ハイリスク群である 8050 世帯への関りや、きょうだいへの対応について、実践事例から学びます。 講師：深谷 守貞（社会福祉士） KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部・ソーシャルワーカー
2	10:50～13:00 (質疑応答 10 分含む)	ワークショップ：対話を用いた関係づくり ・相談の場で、本人家族が安心して話せる場を作ることを目的にオープンダイアログに基づいた、対話を用いた関係づくりのワークショップを行います。 講師：福井 里江（公認心理師、臨床心理士） 東京学芸大学教育学部 教授 講師：上田 理香（公認心理師、家族支援士） 一般社団法人 SHIP ひきこもりと共生社会を考えるネットワーク 代表理事

【参加対象】

ひきこもりの支援活動に携わり、実際にひきこもりのケースを有している方
ひきこもりへの理解、及び、支援に関心のある方

【参加費】 ※研修会は個人でのお申込みになります。

事業者で複数名参加の場合でも、お一人ずつお申込みください。

●開催日当日のオンライン参加: 開催日ごとに、おひとり5,500円(税込)

●開催後のオンデマンド配信希望: 開催日ごとに、おひとり5,500円(税込)

●当日参加とオンデマンド配信の両方を希望: 開催日ごとに、おひとり8,800円(税込)

●全7回の講座を一括申込の場合は、受講費が1回分割引となります 33,000円(税込)

(一括申込の場合は、開催日ごとに、当日参加もしくはオンデマンドどちらを選んでも可)

※オンデマンド配信期間は、概ね3週間を予定しています

※配信開始は、開催後およそ1か月後を予定しています。

適格請求書発行事業者登録番号：T5030005002918

【2025年度 研修会の研修科目】

<基礎・理念編>

- ① 7月27日(日) ハンドブックに基づくコミュニティ・インクルージョン、社会モデル
- ② 8月24日(日) ハンドブックにおける本人支援・家族支援
- ③ 9月21日(日) ハンドブックにおける支援の理念と倫理、本人の尊重
- ④ 10月26日(日) KHJ家族会と研修参加者の交流会

<支援・実践編>

- ⑤ 11月23日(日) 本人の視点を尊重する医療的支援・心理的支援
- ⑥ 12月14日(日) 本人・家族の生活を支えるソーシャルワーク実践
- ⑦ 2月 1日(日) 困難事例とワークショップ(対話を用いた関係づくりワーク)

※各科目の最後には10分間の質疑応答と10分間の休憩時間を設けます。

【お申込みの手順と研修の参加方法】

参加をご希望の際は、下記の(1)～(6)の項目をご記入のうえ、必ず「メール」でお申し込みください。

- (1) お名前(ふりがな) (2) ご所属 (3) 郵便番号・住所
(4) 電話番号(研修当日に連絡のつく番号) (5) 研修に参加される方のメールアドレス

※一つの事業所で複数名の参加を希望される場合は、一緒に参加する方のお名前と
個々のメールアドレス・電話番号もお書き添えください。

- (6) 希望する開催月及び、当日参加かオンデマンド配信希望か、両方希望か。
(前ページの掲載①～⑦の研修科目の中で、参加をご希望する研修科目の番号と
当日参加かオンデマンド配信かの参加形式をお書きください)

※複数科目の参加の場合は、まとめて参加費のお振込みをお願いしております。

※締切前であれば、後から、追加のお申し込みも可能です。

※開催週の(火)を過ぎてのキャンセルの場合、原則、返金はできませんのでご了承ください。

- (7) 請求書や領収書の有無 (必要な場合は、宛名と但し書きをご記入ください)

【お申し込み・お問い合わせのアドレス】 (lecture は「レクチャー」の綴りです)

lecture@khj-h.com 「KHJ ひきこもり支援者研修会」係

※メールにて「参加費振込案内」をご返信いたします。

【申込締切】 各研修会開催日の前週の火曜日までに
メールでのお申込みと、下記口座まで振込みをお願いします。

【振込先】※申込と同時の振込が難しい場合は、その旨、メール内に振込予定日をお書き添えください。

ゆうちょ銀行 総合:10150-48439951 他行から(普通:〇ー八店 4843995)

特定非営利活動法人KHJ全国ひきこもり家

トクヒ)ケイエイチジェイゼンコクヒキコモリカゾクカイレ

※法人名が長いので途中で切れておりますが、この名義になります。

- お申込みされた方には研修会前週の金曜日を目途に、「研修テキスト」のダウンロード先、及び「参加される Zoom アドレス」の ID とパスワードをお申込み時のメールアドレス(参加申込者)にお送りします。
- 事前にテキストをダウンロードの上、研修にご参加ください。
- 参加者自身の PC 環境の不具合などによる接続の不具合、画像の乱れ、また不具合による研修不参加については、当会では対応できかねます。お手持ちの端末の Wi-fi 環境などは十分にご留意ください。予めご了承ください。
- 個人情報は適切に管理し、研修事業のみに使用いたします。

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-16-12-301

E-mail: lecture@khj-h.com <http://www.khj-h.com>